

平成26年度いわて市町村行財政コンサルティング 診断調書（データ編・震災分を除く）

市町村名 **田野畑村**

【普通会計の状況】

〔表1〕財政力・歳入構造の自立度・安定度（⇒財政的な基礎体力はどうなっているか）（単位：百万円、％）

項 目		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	県 平均 (H25)	H25年度の状況		
										順位	改善又は悪化の 傾向(H19比)	
標準財政規模(臨財債含む)		2,129	2,135	2,217	2,405	2,343	2,381	2,374			245	↑
財政力指数		0.15	0.14	0.14	0.13	0.12	0.12	0.12	0.32	33	▲ 0.03	↓
自主財源比率		16.0	13.4	15.6	20.0	20.6	22.2	25.2	33.1	25	9.2	↑
地 方 税	地方税額	216	222	223	218	190	200	220			4	↑
	地方税の歳入割合	5.5	5.8	4.9	5.0	4.2	5.6	5.9	21.5	32	0.3	↑
	市町村税の徴収率	88.8	90.0	92.2	94.4	94.6	95.3	96.3	94.0	6	7.5	↑
	国保税の徴収率	86.1	84.8	85.7	88.1	83.9	85.9	92.1	73.1	1	6.0	↑
交 付 税	地方交付税額(臨財債含む)	1,866	1,998	2,077	2,292	2,480	2,252	2,204			338	↑
	交付税依存度	47.9	51.8	45.4	51.9	55.3	63.6	59.0	40.5	32	11.1	↓

※復旧・復興分を除く。地方交付税は震災復興特別交付税を除く。

〔表2〕収支と基金残高（⇒基金の取崩しに頼る財政運営となっていないか。実質単年度収支の3年連続赤字は要注意）

実質収支比率		2.4	2.7	3.2	5.9	7.9	16.3	6.5	9.5	11	4.1 ↑
実質単年度収支比率		7.4	7.6	8.3	7.7	9.2	48.9	19.9	4.5	3	12.5 ↑
基 金	基金現在高	1,356	1,564	1,700	1,864	2,165	2,301	2,704			1,348 ↑
	うち財政調整基金	780	937	1,106	1,222	1,395	1,584	2,006			1,226 ↑
	うち減債基金	294	299	310	305	281	256	233			▲ 61 ↓
	基金残高倍率	63.7	73.3	76.7	77.5	92.4	96.6	113.9	44.7	4	50.2 ↑
連結実質赤字比率			-	-	-	-	-	-		-	
一借限度額(普通会計)		500	500	500	500	1,000	1,000	2,000			1,500 ↓
一借限度額倍率		23.5	23.4	22.6	20.8	42.7	42.0	84.2	23.1	32	60.7 ↓

※分母となる標準財政規模には、臨時財政対策債発行可能額分を加算している。（以下の比率において同じ。）

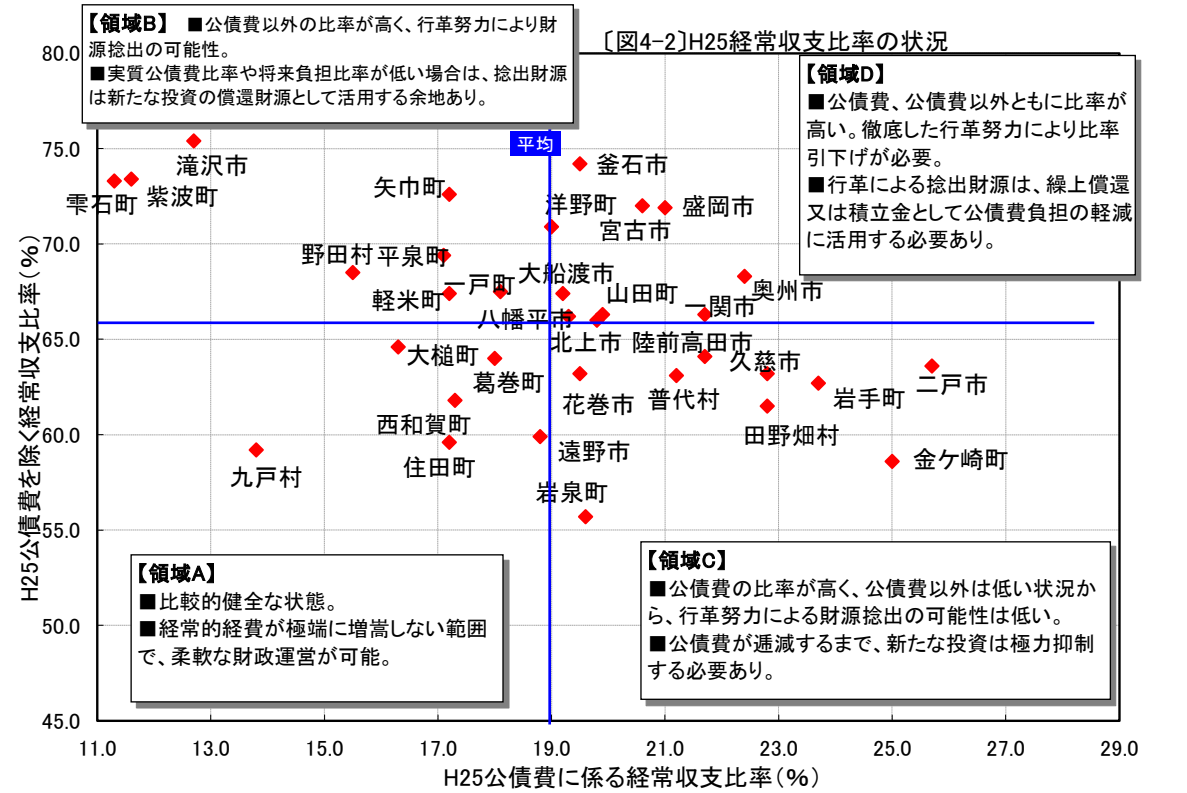
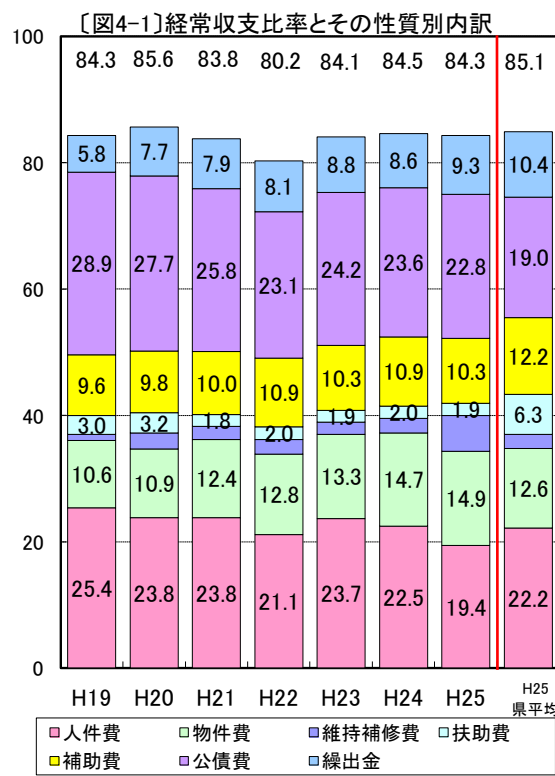
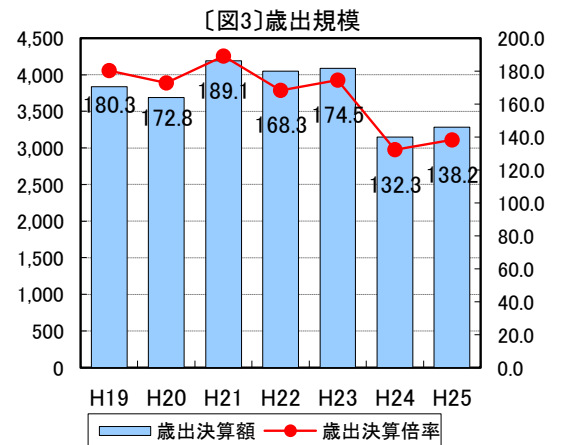
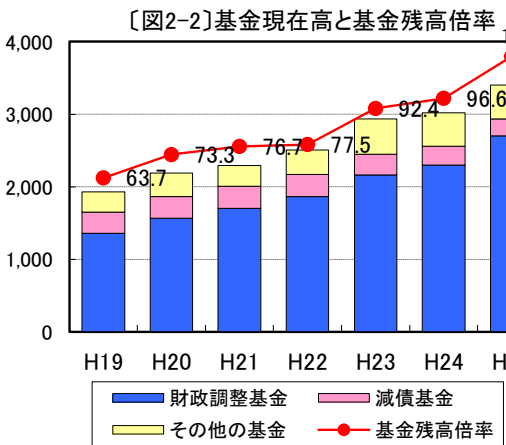
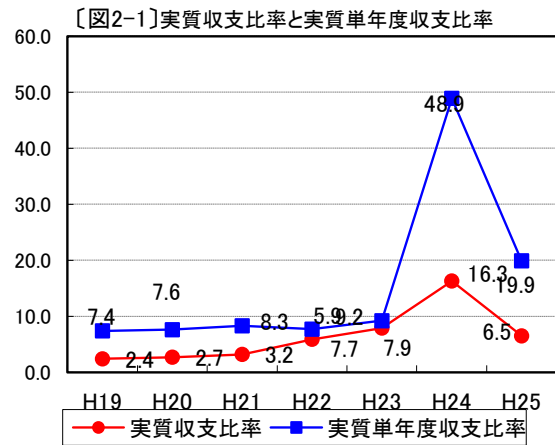
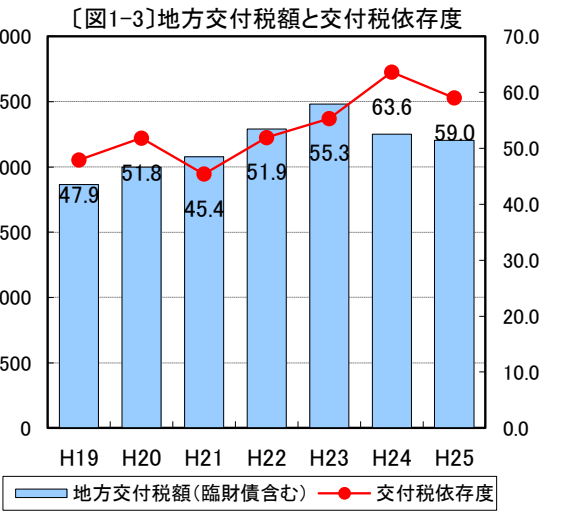
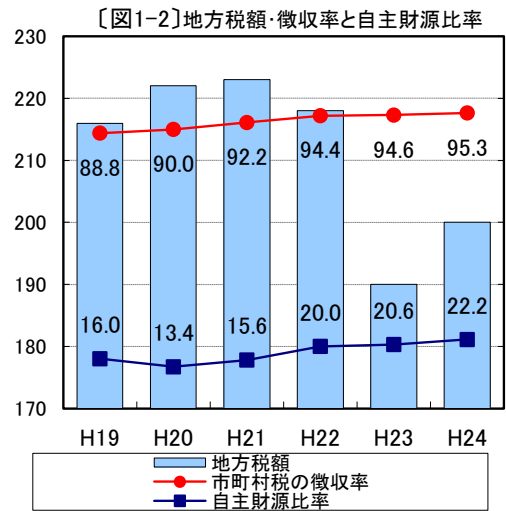
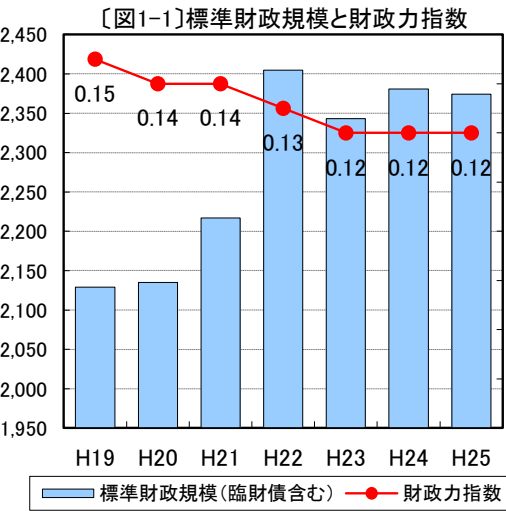
〔表3〕歳出規模の適正度（⇒実質単年度収支が赤字の場合、身の丈にあった歳出規模となっているか）

歳出決算額		3,838	3,688	4,191	4,047	4,089	3,150	3,282			▲ 556 ↓
歳出決算倍率		180.3	172.8	189.1	168.3	174.5	132.3	138.2	163.8	4	▲ 42.1 ↑

※復旧・復興分等を除く。

〔表4〕財政構造の弾力性（⇒どの経常的経費の割合が高いか。義務的、経常的経費により財政が硬直化していないか）

経常収支比率		84.3	85.6	83.8	80.2	84.1	84.5	84.3	85.1	11	0.0 ↓
性 質 別 内 訳	人件費の比率	25.4	23.8	23.8	21.1	23.7	22.5	19.4	22.2	6	▲ 6.0 ↑
	物件費の比率	10.6	10.9	12.4	12.8	13.3	14.7	14.9	12.6	23	4.3 ↓
	維持補修費の比率	1.0	2.5	2.1	2.3	1.9	2.3	5.7	2.2	32	4.7 ↓
	扶助費の比率	3.0	3.2	1.8	2.0	1.9	2.0	1.9	6.3	1	▲ 1.1 ↑
	補助費等の比率	9.6	9.8	10.0	10.9	10.3	10.9	10.3	12.2	11	0.7 ↓
	公債費の比率	28.9	27.7	25.8	23.1	24.2	23.6	22.8	19.0	29	▲ 6.1 ↑
繰出金の比率		5.8	7.7	7.9	8.1	8.8	8.6	9.3	10.4	13	3.5 ↓
経常収支比率(公債費除き)		55.4	57.9	58.0	57.1	59.9	60.9	61.5	66.1	6	6.1 ↓



市町村名 **田野畑村**

〔表5〕人件費と公債費の適正度（⇒財政硬直の最大要因である人件費、公債費の状況はどうなっているか）（単位：百万円、％）

項 目		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	県 平均 (H25)	H25年度の状況 順位	改善又は悪化の 傾向(H19比)
職員数 と 人件 費	職員数	77	76	73	72	68	70	69			▲ 8 ↑
	うち普通会計関係	59	58	57	56	54	55	58			▲ 1 ↑
	うち企業会計等会計	18	18	16	16	14	14	11			▲ 7 ↑
	人口千人当たり職員数	18.5	18.7	18.4	18.3	17.7	18.5	18.4	9.7	4	▲ 0.1 ↓
	ラスパイレス指数(給与水準)	88.1	89.0	89.2	90.0	89.4	88.5	88.5	94.4	2	0.4 ↓
公債 費	公債費負担比率	25.0	22.6	18.8	19.0	17.2	19.8	17.8	13.6	11	▲ 7.2 ↑
	実質公債費比率(3ヵ年平均)	13.9	13.6	13.0	11.6	11.4	10.8	10.5	12.1	8	▲ 3.4 ↑

※職員数・ラスパイレス指数は(n+1)年度4月1日現在。H24,H25ラスは国の減額前給与で算出 ※実質公債費比率は(n+1)年度の値

〔表6〕投資的経費の状況（⇒社会資本整備のための投資的経費の状況(歳出決算シェア)はどうなっているか）

歳出に占める普通建設事業費の割合	15.8	23.1	32.8	28.0	23.3	10.2	9.7	14.3	23	▲ 6.1	↓
うち単独事業	3.9	6.1	17.1	9.4	19.4	5.6	1.4	6.3	33	▲ 2.5	↓

※復旧・復興分等を除く。

〔表7〕プライマリーバランスと地方債残高の状況（⇒プライマリーバランスの黒字が確保されているか、結果として地方債残高はどうなっているか）

元金償還額(臨財債を含む)	537	515	494	485	489	498	481			▲ 56	↑
地方債発行額(臨財債を含む)	417	478	393	482	532	516	388			▲ 29	↑
地方債残高(臨財債を含む)	4,925	4,888	4,788	4,786	4,828	4,847	4,754			▲ 171	↑
プライマリーバランス(発行額/償還額)	77.7	92.8	79.6	99.4	108.8	103.6	80.7	99.0	14	3.0	↓
地方債現在高倍率	231.4	229.0	216.0	199.0	206.0	203.5	200.2	189.5	26	▲ 31.2	↑

〔表8〕将来の財政負担の状況（⇒将来的な財政負担の状況(ストック)はどうか。）

①地方債残高	4,925	4,888	4,788	4,786	4,828	4,847	4,754			▲ 171	↑
②債務負担行為支出予定額	180	121	108	43	322	4,326	3,001			2,821	↓
③基金現在高	1,356	1,564	1,700	1,864	2,165	2,301	2,704			1,348	↑
将来財政負担額(①+②-③)	3,749	3,446	3,196	2,965	2,984	6,871	5,051			1,302	↓
将来財政負担比率	176.1	161.4	144.2	123.3	127.3	288.6	212.7	286.6	23	36.6	↓
将来負担比率		70.9	67.2	59.4	47.7	27.8	-	57.1	1		

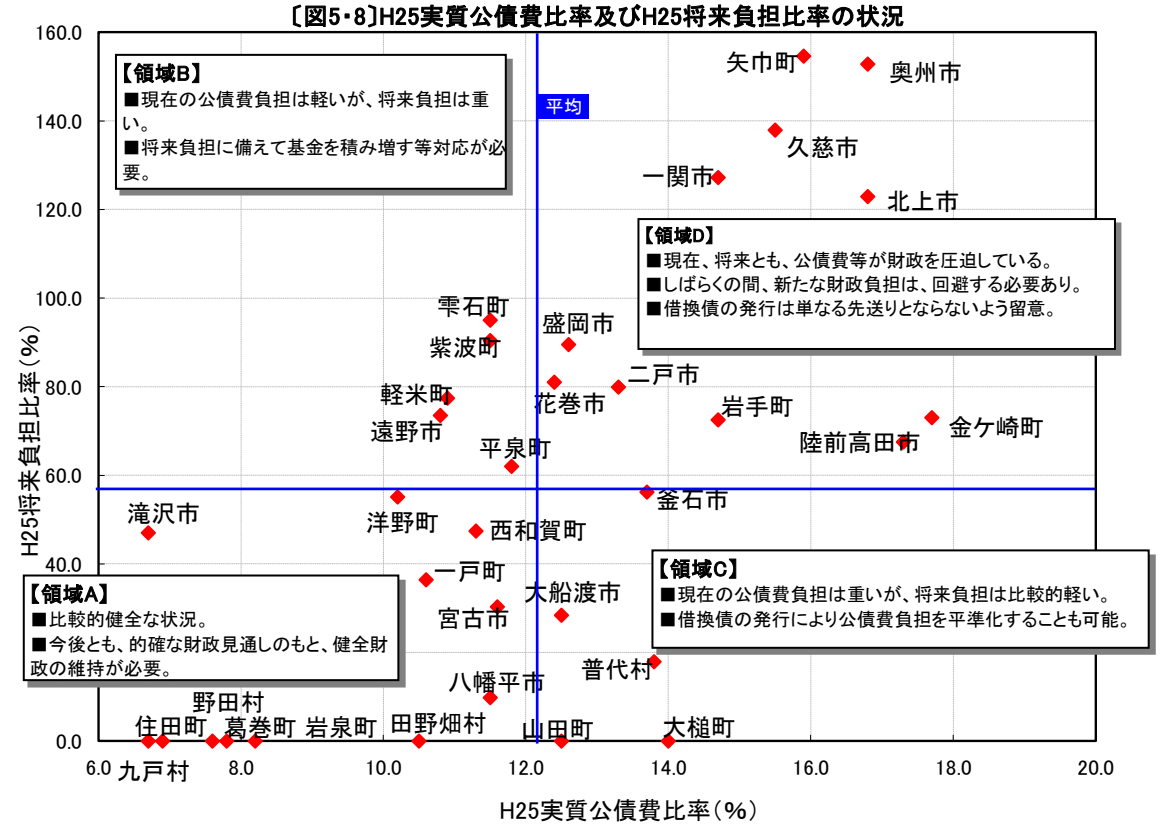
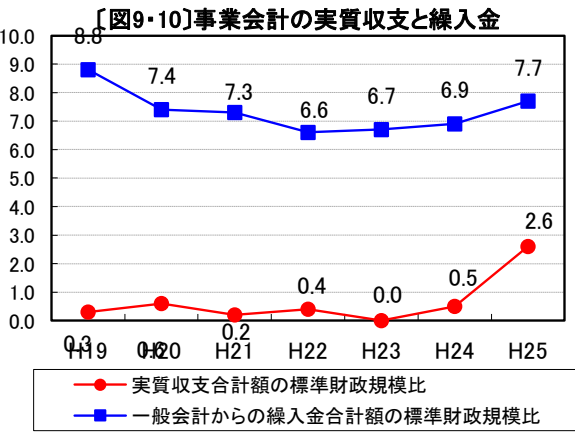
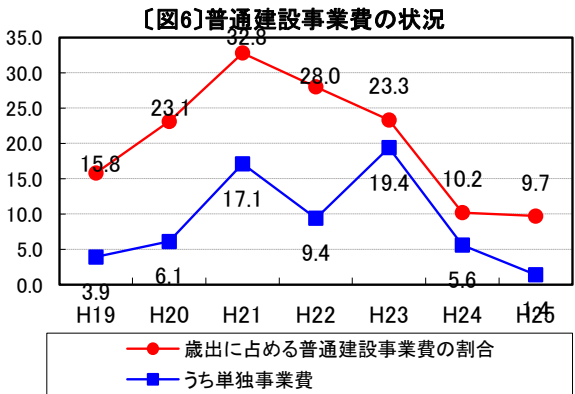
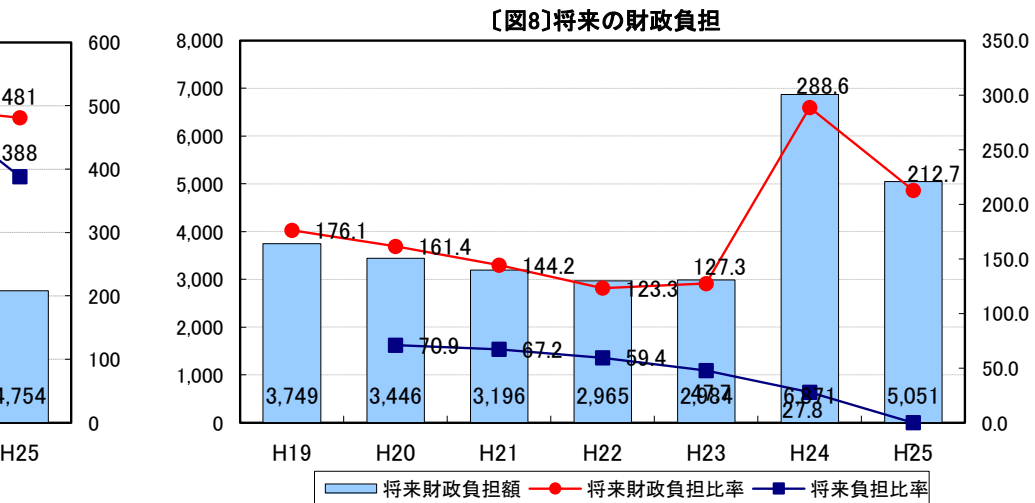
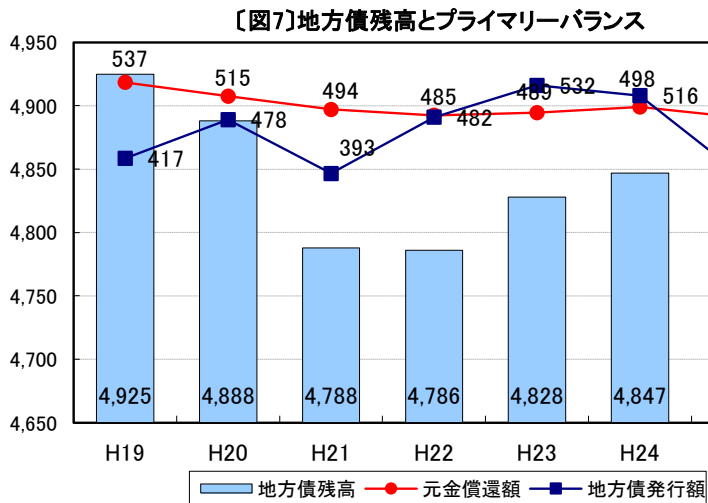
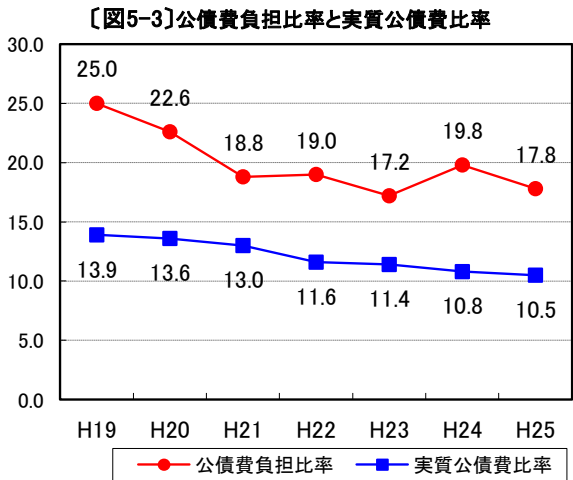
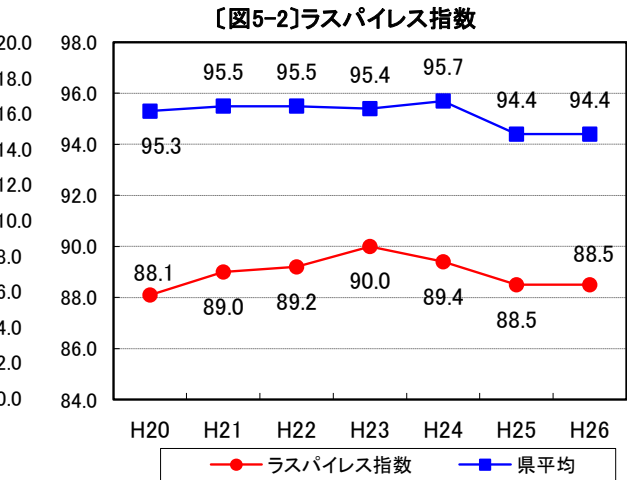
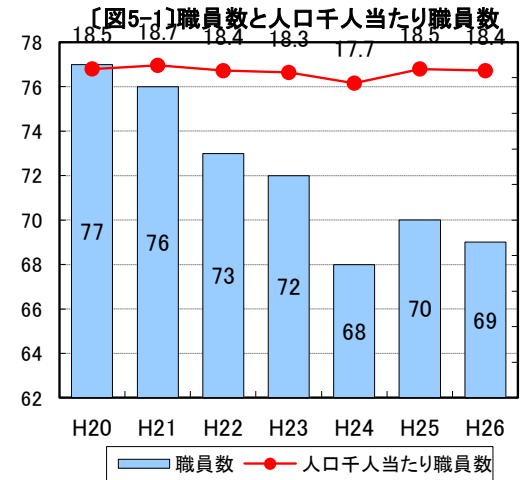
〔国保等事業会計の状況〕※国保(事業勘定)、国保(直診勘定)、老人保健、介護保険、介護サービスの特別会計

〔表9〕収支の状況

全会計の実質収支合計額	6	12	5	10	▲ 1	11	61			55	↓
上記の標財規模に対する割合	0.3	0.6	0.2	0.4	0.0	0.5	2.6	1.3	7	2.3	↓
実質収 支の内 訳	国保(事業勘定)	3	3	2	10	▲ 1	11	61		58	↑
	国保(直診勘定)	0	0	0	0	0	0	0		0	↓
	老人保健・後期高齢者	0	0	0	0	0	0	0		0	↓
	介護保険	3	8	2	0	0	0	0		▲ 3	↓
	介護サービス	0	0	0	0	0	0	0		0	↓

〔表10〕一般会計等からの繰入金の状況

全会計の繰入金合計額	188	158	161	159	157	164	183			▲ 5	↑
上記の標財規模に対する割合	8.8	7.4	7.3	6.6	6.7	6.9	7.7	6.8	20	▲ 1.1	↑
繰入 金の 内 訳	国保(事業勘定)	45	58	59	43	45	45	64		19	↓
	国保(直診勘定)	63	38	37	32	18	31	30		▲ 33	↑
	老人保健・後期高齢者	30	15	13	14	15	15	16		▲ 14	↑
	介護保険	48	47	53	70	79	71	72		24	↓
	介護サービス	2	0	0	0	0	1	1		▲ 1	↑



【公営企業の状況】

〔表11〕収支の状況 ※法適用は純損益、法非適は実質収支

									(単位:百万円、%)		
項 目		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	県 平均 (H25)	H25年度の状況	
										順位	改善又は悪化の 傾向(H19比)
全会計の収支合計額		1	3	5	12	1	0	35			34 ↑
上記の標財規模に対する割合		0.0	0.1	0.2	0.5	0.0	0.0	1.5	0.8	8	1.5 ↑
法 適 用 企											
法 非 適 用 企 業	簡易水道	1	3	5	12	1	0	0			▲ 1 ↓
	特定環境下水道	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓
	漁業集落排水	0	0	0	0	0	0	35			35 ↑

〔表12〕資金不足の状況

資金不足比率		-	-	-	-	-	-	-		-	
		-	-	-	-	-	-	-		-	
		-	-	-	-	-	-	-		-	

〔表13〕一般会計等からの繰入金の状況

全会計の繰入金合計額	72	71	88	98	180	124	258			186	↓
上記の標財規模に対する割合	3.4	3.3	4.0	4.1	7.7	5.2	10.9	9.4	23	7.5	↓
うち基準外繰入金合計額	21	42	9	39	3	28	36			15	↓
法 適 用 企											
法 非 適 用 企 業	簡易水道	9	5	0	10	0	20	16		7	↓
	特定環境下水道	9	18	9	14	3	5	6		▲ 3	↑
	漁業集落排水	3	20	0	16	0	4	14		11	↓

【一部事務組合等への財政支援等の状況】 〔表14〕一部事務組合等への負担金、補助金の状況

補助金、負担金計	179	171	173	213	315	252	168			▲ 11	↑
貸付金計	0	0	0	0	0	0	0			0	↓

※「貸付金計」にはH22年度決算において「貸付残高」のある組合等を掲げている → 該当無し

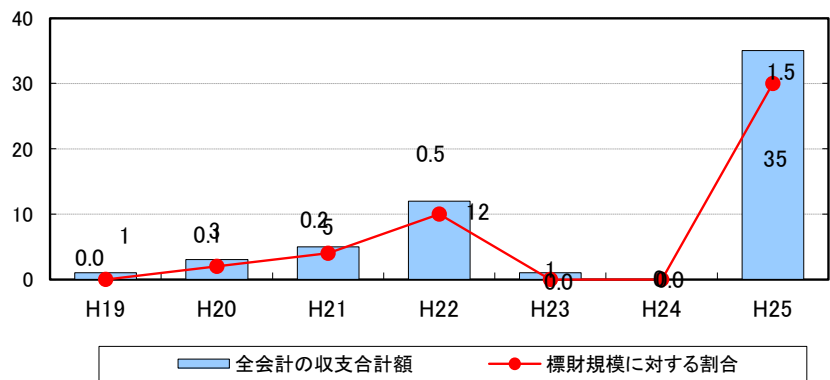
【土地開発公社への財政支援等の状況】 〔表15〕土地開発公社への補助金、貸付金、債務保証残高の状況

補助金	0	0	0	0	0	0	0			0	↓
貸付金	0	0	0	0	0	0	0			0	↓
債務保証残高	0	0	0	0	0	977	0			0	↓

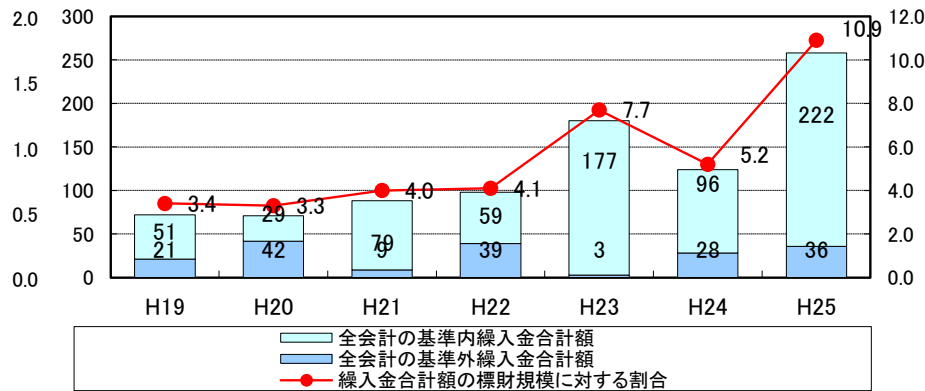
【第三セクターへの財政支援の状況】 〔表16〕第三セクターへの補助金、貸付金、損失補償残高の状況

補助金	39	44	38	39	94	464	150			111	↓
貸付金	8	30	30	30	30	27	0			▲ 8	↑
損失補償残高	1,064	1,011	1,100	1,053	1,049	977	927			▲ 137	↑

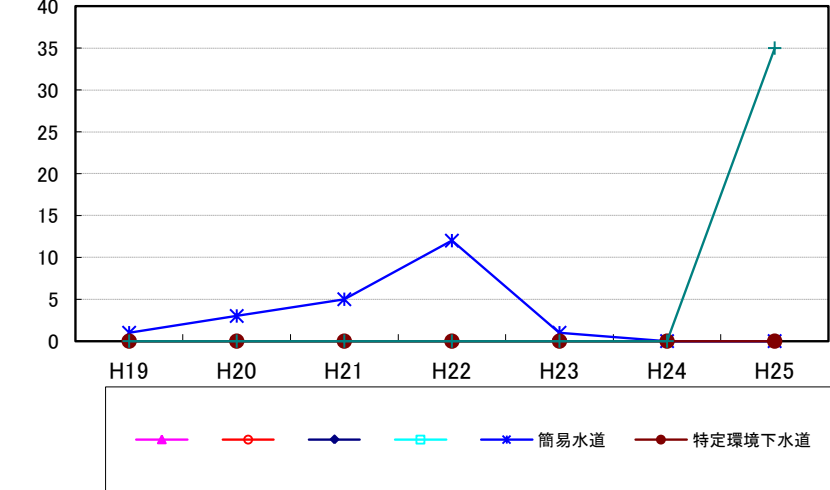
〔図11-1〕公営企業の収支の状況



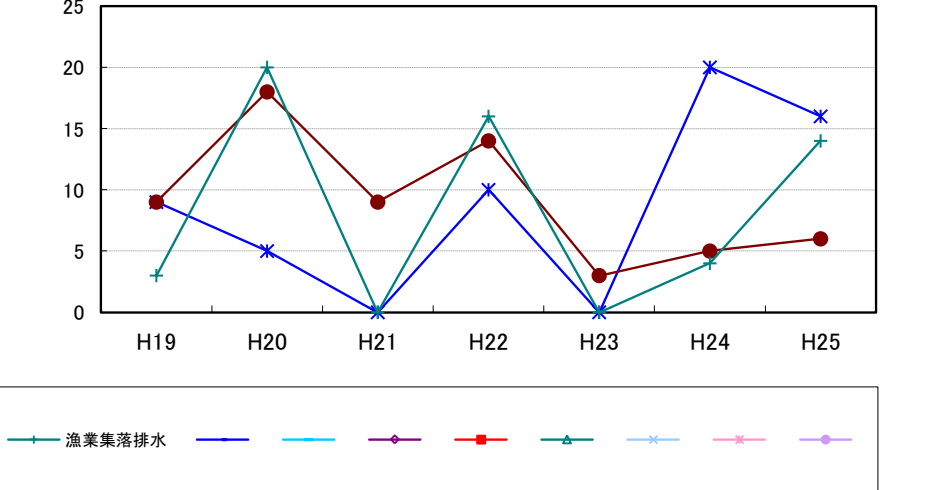
〔図13-1〕公営企業の繰入金の状況



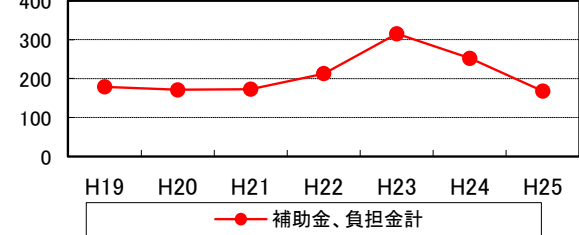
〔図11-2〕公営企業の収支の状況(会計別)



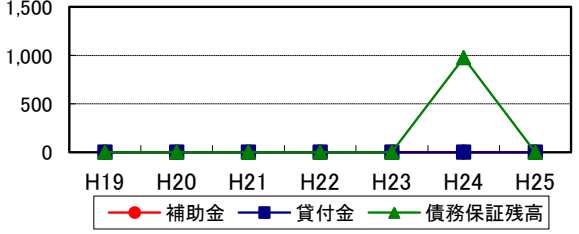
〔図13-2〕公営企業の基準外繰入金の状況(会計別)



〔図14〕一部事務組合への財政支援の状況



〔図15〕土地開発公社への財政支援の状況



〔図16〕第三セクターへの財政支援の状況

